

浄水管理センター汚泥処理設備について

平成28年7月28日 秦野市作成

浄水管理センターの汚泥脱水機に、新技術を用いた乾燥装置を追加配置することにより、低コスト型の汚泥処理技術を確立するとともに、老朽化が進む浄水管理センターの汚泥脱水機を、経済的、かつ効率的に改築更新することを目的として、国が推進する下水道新技術の開発・実用化に向けた事業の技術提案公募に対し、民間研究機関と共同により提出した技術案件について、事業管理者である国土交通省水管理・国土保全局により採用されました。

1 事業名

平成28年度下水道革新的技術実証事業（略称：B-DASHプロジェクト）

2 事業実施主体

国土技術政策総合研究所（国土交通省所管）

3 事業の性格

下水道新技術の開発・実用化のため、民間研究機関からの新技術提案の応募に対し、実証設備の設置と運転管理、及び実証データの取得について、国が民間研究機関に委託するもの。

4 公募の技術テーマ

「中小規模処理場を対象とした下水汚泥の有効利用技術」

5 提案技術及び概要

「自己熱再生型ヒートポンプを用いた高効率下水汚泥乾燥技術」

ヒートポンプ技術を応用したエネルギー効率の高い高性能乾燥システムを導入し、省エネ低コスト型の汚泥乾燥処理を実証するもの。

6 委託研究機関

（株）大川原製作所・関西電力（株） と 秦野市 の共同研究体

7 秦野市の役割

事業実施の条件である国、及び民間研究機関への実証フィールドの提供と、7年以上の継続的な実証設備の使用